

書名	一生に一度は行きたい日本の古事100選			著者名			
出版社	宝島社	ISBN	978-4-8002-7361-1	本体価格	¥741	発売	2017/7/5
内容	仏教伝来以来、日本で独自の進化を遂げた仏教十三宗派。本書は国内最古の大寺院である飛鳥寺(奈良県)や断崖絶壁に屹立する立石寺(山形県)など、十三宗派の代表的な100の古寺を厳選し、その歴史や見どころを、美しい写真とともに紹介します。						

書名	はじめての東大寺			著者名			
出版社	宝島社	ISBN	978-4-8002-6636-1	本体価格	¥720	発売	2017/7/15
内容	日本を代表するお寺、誰もがその名を知っている古都奈良の名刹・東大寺。本誌は、大仏さまの秘密、緑豊かな癒しの境内、1200年以上の歴史を伝える仏像・建造物・法要までを、美しい写真と東大寺のお坊さまの“とっておき情報”とともに紹介する東大寺入門書です。朝晩列をなして通勤してくる鹿たちや、木々の間を駆け回るニホンリスなど、多くの動物たちも登場。あらゆる命がともに支えあう、“共生”の聖地・東大寺へいざ！						

書名	パワースポットの歩き方 京都・奈良編			著者名			
出版社	朝日新聞出版	ISBN	978-4-02-275834-7	本体価格	¥1,000	発売	2017/7/24
内容	視える、感じる人に聞きたい絶対行くべき京都・奈良のパワースポットを総力特集！ 上級者はどのパワースポットに行っている？ そのスポットのポイントとは？ 誰も知らない聖地のヒミツをインタビュー、コミック、グラビアで徹底解明！						

書名	おかあさん、日本の国っていつ始まったの？			著者名	武田 ひさこ／著		
出版社	文芸社	ISBN	978-4-286-17845-5	本体価格	¥1,500	発売	2017/7/15
内容	今は、日本人が日本人としてのアイデンティティを持ち、真摯に歴史と向き合うことで、この世界の希望に貢献できるのではないかと考えているところです。(著者より)——日本という国は、どうやって作られていったか、知っていますか？ 本書は、教科書とは違った視点で、「古事記」をもとにした日本の始まりから現代までの日本の歴史を一気に駆け抜けます。						

書名	ラノベ古事記 日本の神様とはじまりの物語			著者名	小野寺 優／著		
出版社	KADOKAWA(エンターブレイン)	ISBN	978-4-04-734604-8	本体価格	¥1,400	発売	2017/7/12
内容	日本の神様が活躍する下ネタ満載のギャグ本みたいな歴史書『古事記』。しかし1300年以上前に書かれたため言葉遣いが難しく、読み切れない方も多はず。そこで本書は、小難しい解説をぜーんぶ取っ払って物語だけを抜き出し、ラノベ風にまとめました！『古事記』とは、日本神話からはじまる日本最古の歴史書のことです。上中下巻からなり、上巻は日本神話、中下巻は天皇記が書かれています。本書はそのうちの上巻『日本神話』のストーリーを口語訳しました。						

書名	古事記の暗号			著者名	竹内 睦泰／著		
出版社	学研プラス	ISBN	978-4-05-406573-4	本体価格	¥1,600	発売	2017/7/28
内容	日本の正史「日本書紀」と並び称される「古事記」は謎に満ちている。皇祖・天照大神は卑弥呼なのか。なぜ古代天皇はありえないほど長寿なのか。古史古伝「竹内文書」を継承する第73世武内宿禰が封印された神々の秘密を明かし、「古事記」の暗号を読み解く。						

書名	日本の神様解剖図鑑(仮)			著者名	平藤 喜久子／著		
出版社	エクスナレッジ	ISBN	978-4-7678-2296-9	本体価格	¥1,600	発売	7/下旬
内容	解剖図鑑シリーズ最新作！！日本で古来より信仰されてきた神様たちを大解剖！！古事記、日本書紀に登場する日本をかたちづくった神々から、大地・精霊信仰に結びつく民間信仰、仏教と習合した神々、そして災いをもたらす異形の神々、さらには商売繁盛、恋愛成就などの、現世利益信仰が生み出した神様まで、日本の神様たちを「解剖図鑑」ならではの図解で詳しく紹介します。神様の相関図付きなので、それぞれの神様の関係性も一目でわかる！！日本人の生活に深く溶け込んでいる神様たちについて親しく知ることで、日々の暮らしがきっともっと豊かになります。						

書名	天皇の即位儀礼と神仏			著者名	松本 郁代／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-08321-8	本体価格	¥2,800	発売	2017/7/28
内容	前近代の即位儀礼における皇位の正統性や権威は、どのように創出されたのか。儀式書や古記録・聖教・夢想の記述などを読み解き、「公の秘説」として神話や密教的解釈で語られる神仏の物語的機能を通じて即位儀礼の本質に迫る。即位灌頂(かんじょう)での天皇と仏の結び付きや、即位式の神観念の変遷など、神仏と天皇の関係を描き、その歴史的意義を解明する。						

書名	日本人の信仰			著者名	島田 裕巳／著		
出版社	扶桑社	ISBN	978-4-594-07742-6	本体価格	¥800	発売	2017/7/4
内容	日本人の多くが自らを「無宗教」だと考えているにもかかわらず、「墓参り」や「初詣」を始めとする宗教行動が盛んなのはなぜか？ 人気宗教学者が日本人の「信仰のあり方」を、歴史的な側面を踏まえながら多角的に考察する。日本人の宗教観がよくわかる本。						

書名	ふたつの憲法と日本人			著者名	川口 暁弘／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-05850-6	本体価格	¥2,000	発売	2017/7/18
内容	明治以降の日本に存在するふたつの憲法。他国では頻りに改正しているにもかかわらず、大日本帝国憲法は五七年、日本国憲法は今日まで七〇年以上、一度も一文字も改正することがなかった。戦前の「不磨ノ大典」と改憲論、戦後の革新護憲・保守改憲・解釈改憲の歴史から、日本人の憲法観に迫り、国家運営への影響を明らかにする。いま必読の一冊。						